

# 大阪府立急性期・総合医療センター

## リハビリテーション科



当センター全景

当科では、各科における急性期医療と連携した早期からのリハ（急性期リハ）、急性期を過ぎ回復段階での集中したリハ（回復期リハ）、急性期・回復期を過ぎ地域生活への移行に向けたリハ（維持期リハ）等の全てを担当し、一貫したリハ医療に取り組んでいます。



一般病棟における各診療科からのリハビリ依頼件数（平成24年度）2626件  
 整形外科505件 神経内科354件 外科349件 救急診療科282件 心臓外科227件 心臓内科174件 脳神経外科166件  
 精神科107件 消化器内科103件 呼吸器内科68件 腎臓・高血圧内科56件など

### 回復期リハビリテーション病棟

脳血管障害	110名
多発骨折	32名
血管障害以外の脳・神経・筋疾患	26名
廃用症候群	20名
頭部外傷	17名
整形外科術後	17名
外傷性脊髄損傷	6名
切断	3名
計	231名

平成24年度退院患者数より

### 当院の特徴とアピール点

- ・ **集中治療室から回復期、維持期まで**あらゆる時期のリハビリテーションを研修・経験できます。病院だけでなく隣接する大阪府立障がい者リハビリテーションセンターの医療部門も担当しています。
- ・ 脳卒中や整形疾患、廃用症候群はもちろん、**脊髄損傷や頭部外傷、切断、神経難病、小児、循環器・呼吸器などの内部障害まで**あらゆる分野の症例を経験できます。貴重な症例がたくさんあります。
- ・ 急性期病院にあるリハビリテーション科なので、人工呼吸器管理が必要な患者やリハビリは必要だけでも全身管理も必要、といった患者も**他科のバックアップ**を得ながら主治医として担当できます。
- ・ 病院全体がスタッフの教育に熱心で研修会も充実しており、リハビリテーション以外の知識の習得も可能です。
- ・ **複数のリハ科医師**がいます。互いに教えあい、協力して業務を行ったり、休みをとることができます。
- ・ 現在在職しているリハ科医は医師免許取得後早い時期にリハ科を専攻したもの、他科医を経験後リハ科へ転向したものなどいろいろです。
- ・ 育児時間取得や時短勤務などさまざまな働き方が可能です。実際に時短勤務をしているリハ科医師もいます。
- ・ 当科は大阪府医療人キャリアセンターに参加しています。連携病院での研修なども可能です。

### 障害者病棟

外傷性脊髄損傷	23名
廃用症候群	14名
血管障害以外の脳・神経・筋疾患	13名
頭部外傷	10名
整形外科術後	8名
多発骨折	6名
ボトックス療法目的	6名
切断	4名
脳血管障害	3名
脳性麻痺・小児麻痺	3名
その他	8名
計	98名

平成24年度退院患者数より



訓練風景



ブロック療法



装具診察



カンファレンス



嚥下内視鏡検査



嚥下造影検査



器械を使った排痰

### リハスタッフ数：

- 医師 7名
- 日本リハ医学会専門医6名
- 理学療法士33名
- 作業療法士17名
- 言語聴覚士7名
- 臨床心理士1名
- 医療ソーシャルワーカー2名



回診

当院全体のベッド数：768床

リハベッド数：

回復期リハビリテーション病棟 49床

障害者病棟（障害者施設等入院基本料を算定する病棟）38床の一部

### 施設内診療科：

- 急性期医療部門：
  - 高度救命救急センター 心臓血管センター
  - 脳卒中センター 小児医療センター
- 専門医療部門：
  - 内科系診療科；総合内科 呼吸器内科 消化器内科 心臓内科 糖尿病代謝内科 腎臓・高血圧内科 神経内科 免疫リウマチ科 小児科 精神科 皮膚科
  - 外科系診療科；外科 呼吸器外科 心臓血管外科 脳神経外科 整形外科 産婦人科 泌尿器科 眼科 耳鼻咽喉・頭頸部外科 形成外科 歯科口腔外科
- 中央部門：麻酔科 集中治療部 画像診断科 放射線治療科 臨床検査科 病理科
- 高度医療センター：
  - 人工関節センター 難病医療情報センター
  - 消化器内視鏡センター 糖尿病・生活習慣病センター
  - 乳がん治療・乳房再建センター
  - 関節リウマチ・バイオサポートセンター
  - 心臓血管外科低侵襲心臓血管治療センター
- 障がい者医療・リハビリテーション医療部門：
  - リハビリテーション科 障がい者歯科 障がい者外来

### 給与（身分・待遇） 宿泊施設など

当院の規定によります。研修医向けのレジデントハウスがあります。

### 研修プログラム

日本リハビリテーション医学会の研修プログラムに準じています。

**専門医受験資格に必要な全分野の症例を経験できます。**

### 学位取得状況、海外留学状況など

大阪医科大学、和歌山県立医科大学、大阪市立大学などと連携して取得することが可能です。

